

功 績 概 要

【平成 13 年 6 月中旬豪雨災害関係】

| | |
|------|--|
| 関係省庁 | 国土交通省 |
| 名 称 | <small>しめまちしょうぼうだん</small> 志免町消防団 |
| 所在地 | 福岡県糟屋郡志免町大字志免 965 番地 |
| 代表者 | 団 長 <small>おかもと よしひで</small> 岡 本 幸 英 |
| 功績概要 | <p>同消防団は、深夜、町内の河川・水路の増水による住宅への浸水の恐れが出てきたため、住民に対して土のう袋を配布するなど、宇美川流域・町全域の警戒活動を行った。</p> <p>このような中、宇美川の堤防に亀裂が発見されたため、土のう積み等を迅速に行い、堤防の決壊を未然に防止した。</p> |

【平成 13 年台風第 15 号による豪雨災害関係】

| | |
|------|---|
| 関係省庁 | 国土交通省 |
| 名 称 | <small>うすだまちしょうぼうだん</small> 臼田町消防団 |
| 所在地 | 長野県南佐久郡臼田町大字臼田 89 - 4 |
| 代表者 | 団 長 <small>わたなべ かずお</small> 渡 辺 一 夫 |
| 功績概要 | <p>同消防団は、町内を流れる雨川等の堤防が決壊または越水しそうになったため、日頃の水防訓練の成果を生かし、地元住民等と一体となって土のう積みや伝統的な水防工法を駆使し被害の拡大を防止した。</p> <p>さらに、避難勧告が出された住民を無事に避難誘導した。</p> |

功 績 概 要

【平成 13 年台風第 15 号による豪雨災害関係】

| | |
|-------|---|
| 関係省庁 | 国土交通省 |
| 名 称 | <small>とみおかししょうぼうだん</small> 富岡市消防団 |
| 所 在 地 | 群馬県富岡市富岡 1922 番地 7 |
| 代 表 者 | 団 長 <small>はたむら ひろし</small> 畑 村 弘 |
| 功績概要 | <p>同消防団は、市内を流れる岩染川等が増水により護岸が洗掘され、道路の崩落等大きな被害が出る中、日頃の水防訓練の成果を生かし、伝統的な工法を駆使した水防活動を行い被害の拡大を防止した。</p> <p>さらに、被災の恐れがあった住民を無事に避難誘導した。</p> |

【平成 13 年 9 月上旬豪雨災害関係】

| | |
|-------|--|
| 関係省庁 | 国土交通省 |
| 名 称 | <small>おおつきちょうしょうぼうだん</small> 大月町消防団 |
| 所 在 地 | 高知県幡多郡大月町弘見 2230 |
| 代 表 者 | 団 長 <small>く め ひろし</small> 久 米 博 |
| 功績概要 | <p>同消防団は、町内の中小河川が次々と増水し住宅地に濁流が流れこむ中で、土のう積みやポンプによる排水等の水防活動を行い被害の拡大を防止するとともに、逃げ遅れた高齢者等を担架や団員が背負うなどして、流域住民の避難誘導を的確に行い、人的被害を未然に防止した。</p> |

功 績 概 要

【平成 13 年 9 月上旬豪雨災害関係】

| | |
|-------|---|
| 関係省庁 | 国土交通省 |
| 名 称 | すくもしししょうぼうだん 宿毛市消防団 |
| 所 在 地 | 高知県宿毛市幸町 10 番 5 号 |
| 代 表 者 | 団 長 ささき たもつ 笹木 保 |
| 功績概要 | 同消防団は、市内の中小河川が次々と増水し住宅地に濁流が流れこむ中で、土のう積み等の水防活動を行い被害の拡大を防止した。 さらに、河川の氾濫により孤立した住民を避難誘導しゴムボートで無事救出するなど、人的被害を未然に防止した。 |

【平成 13 年 9 月上旬豪雨災害関係】

| | |
|-------|---|
| 関係省庁 | 国土交通省 |
| 名 称 | とさしみずししょうぼうだん 土佐清水市消防団 |
| 所 在 地 | 高知県土佐清水市元町 7 - 16 |
| 代 表 者 | 団 長 もりた まさる 森田 勝 |
| 功績概要 | 同消防団は、市内の中小河川が次々と増水し住宅地に濁流が流れこむ中で、土のう積みやポンプによる排水等の水防活動を行い被害の拡大を防止するとともに、逃げ遅れた住民の避難誘導を的確に行い、人的被害を最小限に防止した。 |

功 績 概 要

【海難救助関係】

| | |
|-------|--|
| 関係省庁 | 国土交通省 |
| 名 称 | かいじょうほあんちょうおおさかかいじょうほあつかんぶ 海上保安庁大阪海上保安監部 きしわだかいじょうほあんしよじゅんしてい 岸和田海上保安署巡視艇「あやめ」 |
| 所 在 地 | 大阪府岸和田市新港町 1 |
| 代 表 者 | 船 長 <small>おがわ まさあき</small> 小 川 正 明 |
| 功績概要 | 同巡視艇は、平成 14 年 1 月 2 日夜間、関西国際空港旅客船ターミナルの沖合海上で発生したジェットfoil旅客船「エメラルドウイング」の浸水海難に際し、小型台風並の荒天下、高度な操船技術を駆使し、航行制御が不能となった当該船の曳航作業を実施、乗船者 23 名の人命救助と油流出による二次災害を防止した。 |